



左：馬場小での住民説明会＝8月28日 右：現地のひび割れ調査＝8月7日



最大の沈下約14センチ

建設中の横浜環状道路北線の馬場場出入口（鶴見区と神奈川区の境）周辺で、最大13・7センチの沈下が発生しました。

地盤沈下が分かったのは20

首都高横浜北線トンネル工事に伴う馬場出入口周辺の地盤沈下問題について

日本共産党横浜市会議員団の见解とお知らせ

15年1月。住宅の塀や駐車場などにひび割れが見つかり、JR横浜線の擁壁にも数回にわたり亀裂が入っていました。

該当地域では、住宅だけでなく、下水管の水位勾配が逆になるなど下水や道路などにも被害が及んでいます。

事業者の首都高速道路株式会社は、8月27・28日に、これまでの経緯や家屋補償などについて、周辺住民への説明会を

行いました。神奈川区内では、西寺尾第二小を会場に100人以上が参加。他にも菊名小や馬場小でも説明会が開かれ、現場近くの住民が参加しました。

首都高は、地盤沈下の原因について、トンネル工事に伴う地下水位が低下したためと説明。地盤沈下の発生エリアは、工事前の地盤調査の対象外でした。

同社は、具体的な被害状況や

被害範囲は「個々の資産にかかわる問題」として明らかにせず、被害補償については「相談申請があれば個別に対応する」として、相談窓口を設けたことを発表しましたが、補償内容や具体的な対策方法は明らかにしませんでした。

ますます不安増す…住民説明会の参加者

説明会に参加した住民からは「うちは大丈夫なのかと思つて説明会に」来た。でも原因も補償の内容も具体的には何も分

からない。これでは不安が増すばかり「地盤沈下が起きているのに、なぜ工事を続けるのか。安全性は大丈夫なのか」「大地震が来た時の耐震に影響はないのか」「地盤沈下した被害範囲と対策が分からないと風評被害がおきる。データの公開を」などの質問や要望が相次ぎましたが、首都高からはまともな回答はありませんでした。

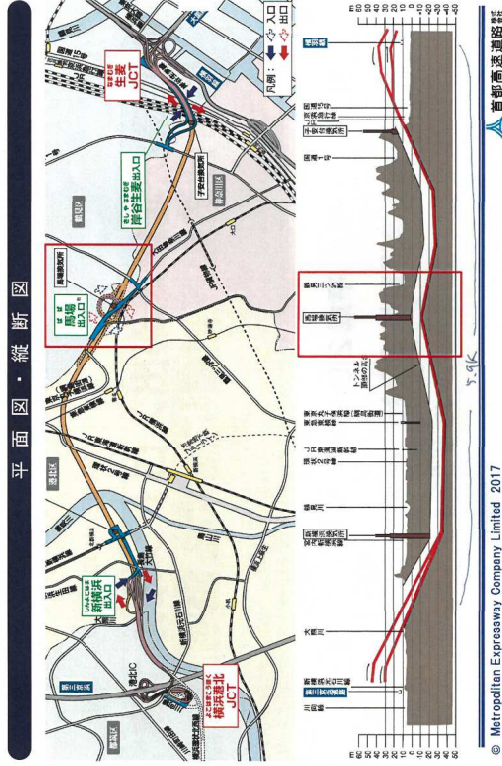
各地域の住民説明会も一回限り

会場からは「不安が広がっている。今日来られなかった人のために町内会単位で説明会を開いてほしい」との要望が出されましたが、首都高は、家屋補償のチラシ配布と詳細をホームページに記載すると述べるにとどまりました。



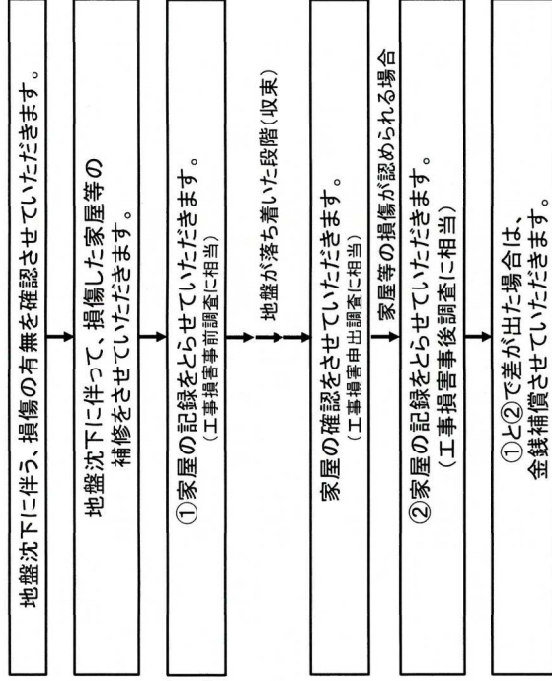
出典：横浜北線事業の概要・路線マップ

1. 全体工事概要 馬場出入口工場の位置図



住民説明会で配られた資料①

家屋補償の流れ



住民説明会で配られた資料②



日本共産党 横浜市会議員 宇佐美さやか (神奈川区選出)

プロフィール▶1977年港北区生まれ。私立横浜学園高等学校、カレハクス・バビー、信和配管サービスなど勤務。顧問「OFFOFF東京」横浜市会議員1期目。水道・交通委員会委員、健康づくり・スポーツ推進特別委員会委員。家族は夫と愛犬。趣味は料理とカラオケ。羽田町在住。現在、党神奈川区委員長。

